

日医発第601号（介護）

令和8年6月24日

都道府県医師会
介護保険担当理事 殿

日本医師会常任理事
江澤 和彦
（公印省略）

科学的介護情報システム（LIFE）研修会の周知について

令和3年度より稼働している科学的介護情報システム（LIFE）につきまして、更なる推進に向け、国立長寿医療研究センターにおいて、「科学的介護に向けた質の向上支援等事業」の一環で、介護施設・事業所の職員等を対象とする研修会が開催されることとなり、厚生労働省から周知依頼がありましたのでご連絡申し上げます。

事前申込制による「基礎編」と「実践編」に分けて開催され、併せてオンデマンド配信も実施されるとのことです。つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知の上、郡市区医師会および会員への周知方につきご高配を賜りますようお願い申し上げます。

（添付資料）

○介護保険最新情報 Vol. 1514

科学的介護情報システム（LIFE）研修会の周知について

（令 8.6.23 厚生労働省老健局老人保健課 事務連絡）

各都道府県介護保険担当課（室）

各市町村介護保険担当課（室）

各介護保険関係団体 御中

← 厚生労働省 老健局老人保健課

介護保険最新情報

今回の内容

科学的介護情報システム（LIFE）研修会の

周知について

計3枚（本紙を除く）

Vol.1514

令和8年6月23日

厚生労働省老健局老人保健課

【 貴関係諸団体に速やかに送信いただきますよう
よろしく願いいたします。 】

事務連絡
令和8年6月23日

各 { 都道府県介護保険主管課（室）
市町村介護保険担当課（室）
介護保険関係団体 } 御中

厚生労働省老健局老人保健課

科学的介護情報システム（LIFE）研修会の周知について

介護保険行政の円滑な運営につきましては、日頃から御尽力賜り厚く御礼申し上げます。

科学的介護情報システム（LIFE）は、介護施設・事業所が介護サービス利用者の状態や、ケアの計画などのデータを提出し、提出された内容が集計・分析され、当該介護施設・事業所にフィードバックされる仕組みとして、令和3年度より運用が開始されました。

ケアの質向上に向けて、LIFEのフィードバック情報等の利活用を推進するためには、介護施設・事業所のみならず、自治体職員の方々の御理解、御協力が重要です。

そのため、科学的介護の更なる推進に向けて、国立長寿医療研究センターにおいて、「科学的介護に向けた質の向上支援等事業」の一環で、介護施設・事業所の職員や自治体職員を対象とする研修会を下記のとおり開催することとなりました。

各都道府県、市町村におかれましては、研修会への職員の参加を御検討いただくとともに、本事務連絡の内容について、別添の広報資材等を用いて、貴管内の介護事業者に対して周知をお願いいたします。また、介護保険関係団体におかれましては、会員事業所への周知についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

【2026年度科学的介護情報システム（LIFE）研修会（基礎編）】

○内容

- ・LIFE 概論
- ・LIFE の入力項目に関する検査、評価について
- ・LIFE の入力項目に関する検査、評価の解釈と個別支援計画の立案について
- ・グループワーク

○対象

- ・介護施設・事業所の職員及び自治体職員

○開催場所及び開催日時

- ・令和8年9月28日（月） 10時00分～15時45分頃（途中休憩あり）
秋田会場 秋田県労働会館フォーラムアキタ （先着：160名程度）
- ・令和8年10月5日（月） 10時00分～15時45分頃（途中休憩あり）
広島会場 TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前 （先着：160名程度）
- ・令和8年10月19日（月） 10時00分～15時45分頃（途中休憩あり）
東京会場 AP 東京八重洲 （先着：180名程度）

【2026年度科学的介護情報システム（LIFE）研修会（実践編）】

○内容

- ・令和6年度介護報酬改定におけるLIFEの入力項目の新規・変更点について
- ・LIFEの新規入力項目に関する検査・評価方法の紹介とその活用について
- ・介護現場でのLIFEの活用方法について
- ・グループワーク

○対象

- ・介護施設・事業所の職員及び自治体職員

○開催場所及び開催日時：

- ・令和8年9月29日（火） 10時00分～15時30分頃（途中休憩あり）
秋田会場 秋田県労働会館フォーラムアキタ （先着：160名程度）
- ・令和8年10月6日（火） 10時00分～15時30分頃（途中休憩あり）
広島会場 TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前 （先着：160名程度）
- ・令和8年10月20日（火） 10時00分～15時30分頃（途中休憩あり）
東京会場 AP 東京八重洲 （先着：180名程度）

※本研修会は、事前申込制です。別途チラシにあるQRコードからお申し込みください。

※研修会の内容は、令和7年12月及び令和8年1月に開催した内容と同じです。

※オンデマンドの配信もございます。オンデマンド配信への参加を希望される方はお申し込みページよりご登録ください。なお、オンデマンド配信の内容は、基礎編は令和5年に、実践編は令和6年度に実施したものとなりますので、ご注意ください。

※本研修会に関するお問い合わせは下記【研修会のお問い合わせ】に記載のメールアドレスからお願いいたします。

以上

【研修会のお問い合わせ】

国立長寿医療研究センター
科学的介護情報システム（LIFE）事務局
所在地：〒474-8511
愛知県大府市森岡町7-430
Mail：longtermcare@ncgg.go.jp

2026年度

参加費無料 要事前登録

科学的介護情報システム (LIFE) 研修会

LIFEに携わる従事者や自治体職員の方を対象とします。

LIFEの概論、評価項目に関する基礎知識、フィードバックに関するデータの読み方や解釈などをご紹介します。さらに、LIFEの活用方法について、参加者の皆様とともに考えていく研修会です。

基礎編

プログラム (10:00~15:45頃)

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 午前 | 1. 開会・事務連絡 |
| | 2. 科学的介護情報システム (LIFE) 概論 |
| | 3. LIFE入力項目に関する検査・評価について |
| 午後 | 4. LIFE入力項目に関する検査・評価の解釈と介護計画の立案について |
| | 5. グループワーク |
| | 6. 閉会 |

会場

- | | |
|----------------|--|
| 秋田会場
先着160名 | 秋田県労働会館
フォーラムアキタ
2026年9月28日(月) |
| 広島会場
先着160名 | TKPガーデンシティ
PREMIUM広島駅前
2026年10月5日(月) |
| 東京会場
先着180名 | AP東京八重洲
2026年10月19日(月) |

実践編

令和6年度改定に伴い変更となった評価項目や新規追加項目の説明とその活用方法についてご紹介します。さらに、介護現場で働かれている方を講師としてお招きしてLIFEの活用方法についてご講演いただき、LIFEのより良い活用方法について検討していくことをめざす研修会です。

プログラム (10:00~15:30頃)

- | | |
|----|---------------------------------------|
| 午前 | 1. 開会・事務連絡 |
| | 2. 令和6年度介護報酬改定に伴うLIFEシステムの新規・変更項目について |
| | 3. LIFEの新規項目に関する検査・評価方法の紹介とその活用について |
| 午後 | 4. 介護現場でのLIFEの活用方法について |
| | 5. グループワーク |
| | 6. 閉会 |

会場

- | | |
|----------------|--|
| 秋田会場
先着160名 | 秋田県労働会館
フォーラムアキタ
2026年9月29日(火) |
| 広島会場
先着160名 | TKPガーデンシティ
PREMIUM広島駅前
2026年10月6日(火) |
| 東京会場
先着180名 | AP東京八重洲
2026年10月20日(火) |

オンデマンド視聴

要事前登録
LIFEポータルからお申し込みください。

視聴期間:2026年7月1日~2026年12月25日

基礎編 (2023年度撮影分)

実践編 (2024年度撮影分)

※2026年度開催内容とは一部異なります。

お申し込みはこちらから



LIFEポータル

URL:<https://www.ncgg.go.jp/ri/lab/cgss/lifeportal/workshop/>



※基礎編・実践編の両日をご希望の場合は各々お申し込みください。

お問い合わせ

国立長寿医療研究センター 科学的介護情報システム (LIFE) 事務局

メール: longtermcare@ncgg.go.jp

公式サイト: <https://www.ncgg.go.jp/ri/lab/cgss/lifeportal/>



国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
National Center for Geriatrics and Gerontology



ひと、暮らし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

この事業は、厚生労働省介護保険事業費補助金の交付を受け、国立長寿医療研究センターが実施いたします。